

300床以上の  
病院向け

20:44 9月19日(火) 大動脈手術説明書 (サイン引用) 85%

キャンセル 1234 : 天王洲 一郎 69 / 69 登録

### 麻 酔 同 意 書

説明年月日 : \_\_\_\_\_

説明麻酔科医師署名 : \_\_\_\_\_

- ・必要事項を記入した「麻酔説明書」を受領しました。
- ・貴院の「麻酔説明書 (第2版)」に従いこれから受ける予定の麻酔に関し担当麻酔科医師より説明を受けました。
- ・説明に際しては質問する機会を与えられ、用語や説明内容で理解できない点、疑問点等に関して理解、納得できる追加説明を受けました。
- ・説明内容を理解した上で上記麻酔を受けることに同意いたします。

同意年月日 : 2023年10月11日

患者氏名 : 天王洲 一郎

ご家族代表者 : 天王洲 茂子

\*入院時に、病院で記入していただくことになっている書類です。

# 医療業界のIT効率革命

## PDF文書機能で

文書業務を

# 90%削減

## 目次

CHAPTER. 1

### PDF文書機能の概要

CHAPTER. 2

### 費用対効果、導入事例

---

## 本資料の対象者

☑ 300床以上の病院の経営層

CHAPTER. 1

# PDF文書機能の概要

院内文書に関する業務を**90%削減可能**。  
従来のスキャン作業・電子カルテ転記作業を廃止。



同意書



問診



入院時記載文書



各種書類による申し込み

## iPad上で同意書、問診票などの業務が可能。

The screenshot shows a medical consent form titled "大動脈手術説明書 (サイン引用)" (Aortic Surgery Explanation Book (Signature Reference)) on an iPad. The form is titled "麻酔同意書" (Anesthesia Consent Book). It contains fields for "説明年月日" (Explanation Date) and "説明麻酔科医部署名" (Explanation Anesthesiologist Department Name). Below these are several bullet points explaining the procedure and risks. The "同意年月日" (Consent Date) is filled with "2023年10月11日". The "患者氏名" (Patient Name) is "天王洲 一郎" (Tenjūzū Ichirō) and the "ご家族代表者" (Family Representative) is "天王洲 花子" (Tenjūzū Hanako). At the bottom, there is a note: "※入院時に、病院内で記入していただくことになっている書類です。" (This is a document that you will fill out in the hospital when you are admitted). The iPad status bar at the top shows the time as 20:44, the date as 9月19日(火), and the battery level as 85%.

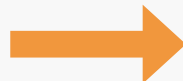
### PDF保存

手書き回答した文書を  
そのままPDFで保存。

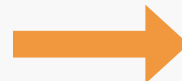
### 従来の同意書業務



患者様が紙の同意書に記載。



事務員が1枚ずつスキャン・転記。



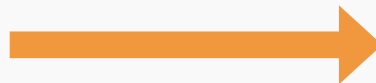
電子カルテにデータを送り連携。



### PDF文書機能導入後の同意書業務



患者様がiPad上の同意書記載。



電子カルテにデータが即反映。

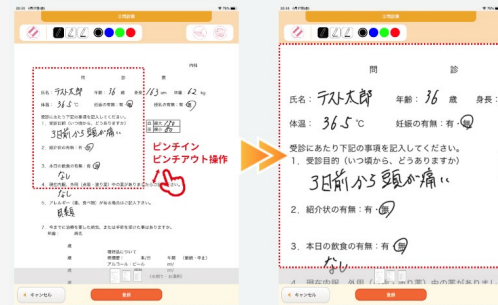
事務員によるスキャン・転記作業が無くなるため事務業務90%削減が可能。

## 文書への手書き記載



PDFに直接文書記載を行うことが可能。

## 文書作成画面表示の拡縮



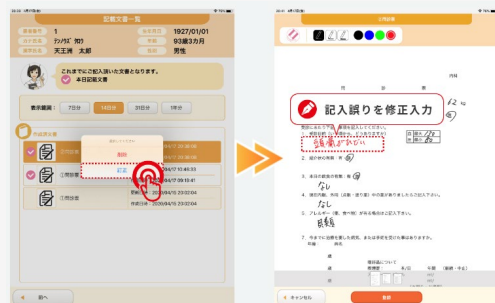
記載文書を拡縮表示させたまま、  
記載することが可能。

## 記載内容の削除・再記入



記載された文字は、  
何度でも訂正する事が可能。

## 登録文書の再訂正



登録済文書の記載内容の修正が可能。

## 個別署名入力(患者用/職員用)



表示文書の署名欄とは別に  
登録データ専用の署名の記載が可能。

## 複数ページの切替・入力



1文書複数ページで構成された文書でも  
同一文書入力の中で記載が可能。

※PDF文書機能で作成、使用した文書は無線対応プリンタ（AirPrint）で印刷することが可能です。

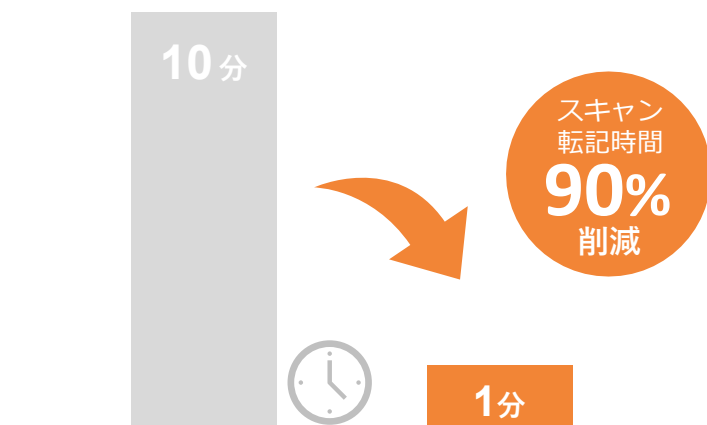
CHAPTER. 2

# 費用対効果、導入事例



## PDF文書機能による2つの効果

### 業務削減効果



### 費用対効果

アルテリア費用 (年間)<sup>※1</sup> 278万円

人件費削減額 (年間)<sup>※2</sup> ▲3,750万円



費用対効果  
3,472万円

※1患者数(年間)10万人、iPad 20台の導入を想定。

※2 PDF文書機能によりスキャン及び転記時間を10分から1分へ削減することで年間15,000時間削減 (10万人×9分)。15,000時間×2500円 (看護師平均時給) = 3,750万円。

# 全診療科25部門で60台のiPadを導入 年間10万枚の間診票を電子化し事務員の 工数を年間5,000時間削減



## 導入の背景

### 電子カルテを導入しても、紙管理からは脱却できなかった

当院は電子カルテを導入済みでしたが、間診票はペーパーレス化されていませんでした。1日の外来患者数は800～900名ですが、患者様は紙の間診票へ手書きし、都度、受付職員が間診票をスキャン（電子カルテとの紐づけ）してファイリング（保管）する必要があり、大きな負担となっていました。

## 導入のポイント

### 従来と同様の運用が可能な「PDF文書機能」

ARTERIAを選んだ最大の理由は「PDF文書機能」です。間診票など従来の紙の書類をそのままiPad上に表示し、手書き感覚で運用できる点に着目しました。これなら患者様も事務職員も、従来同様に使用することが可能と考えました。WorkVisionさんには、私たちの要望に柔軟に対応していただき、共に創り上げていく手応えも充分でした。実際に対応も迅速で、新型コロナウイルス禍にあっても、想定以上に早く導入することができました。

## 導入の効果

### 年間10万枚の間診票を電子化し、事務員の工数を年間5,000時間削減

全25部門にARTERIAを導入、2022年の約1年間で10万枚の間診票を電子化し、紙のスキャン作業やファイリングの必要がなくなったため、事務員の工数を年間約5,000時間削減できました。また、患者様が複数の診療科を利用する場合、総合受付で登録された間診票の内容を全ての部門で共有できるため、患者さんが何度も問診表を記入したり、事務員同士が受け渡しをしたり、ときには探したりといった手間もなくなりました。

導入当時、「何故わざわざ電子化するのかかわからない。運用が変わることで混乱を招くのでは…」といった院内職員からの否定的な声も多くありましたが、ARTERIAを使い始めると劇的に業務が効率化され、職員の負担が解消されたため、その後、不満の声はありません。



## 医療法人社団松和会 池上総合病院

東京都大田区の東急池上線池上駅から徒歩1分の場所にある医療法人社団松和会 池上総合病院。25の診療科目、384の病床数で急性期医療に臨むとともに、救急医療センターや集中治療室を開設し、24時間365日の救急医療にも対応しています。また、地域包括病棟を完備し、急性期治療後のリハビリや在宅でのサポートにも注力。充実した設備と高い医療技術で地域の健康寿命を支える大田区内屈指の総合病院です。

# 病院・介護施設など全5拠点で月間3,200部の帳票を電子化 保険証のコピー&スキャンも 一切不要に！



## 導入の背景

### 日々発生する帳票の印刷。事務員の作業負担と管理コストが課題だった

当会では紙の帳票を扱うことによるさまざまな課題がありました。病院では、次の日に来院の予定がある患者様のために問診票などの必要書類を印刷しての準備、当日は患者様からサインをいただいた後、スキャンしてデータ化し、電子カルテと連携。スキャンの工程では取り込みのミスや間違いも発生していました。

## 導入のポイント

### 他に代わるサービスがない。存在を知った後に即導入

電子カルテだけでは解決できない問題をどのようにクリアしようかと頭を悩ませていたとき、2022年の2月にある展示会に参加したことをきっかけにARTERIAの存在を知りました。電子カルテと連携してタブレット上で帳票に記入できるという機能は、まさに私たちが求めていたもので、他に代わるサービスは知りません。「これだ！」と思ってすぐに資料をダウンロードして2022年の7月に導入できました。

## 導入の効果

### タブレットの活用で帳票のペーパーレス化を実現！

ARTERIAを導入したことで、以前は紙で用意しなければならなかった多くの帳票をタブレットで準備し、記載できるようになり「次の日に来院の予定がある患者様のための帳票準備」の作業は丸ごとなくなり、事務員の作業負担は大幅に軽減されました。帳票はすでに患者様ごとに電子カルテと連携されているので、別の患者様の情報を登録してしまうといった人的ミスが起こる心配もありません。ARTERIAにより、病院と介護施設、全5拠点で月間3,200部の帳票電子化を実現できました。

事務員のなかでは「うまく使えるか心配」といった声もありましたが、導入する前にWorkVisionの技術担当さんが当院に来て直接システムの使い方の説明をしてくれました。システムとしても非常にシンプルなので事務員は違和感なく使えているようです。



## 社会医療法人 頌徳会

大阪府堺市で保健・医療と福祉サービスを総合展開する社会医療法人 頌徳会。1979年に「日野診療所」を開設してから、40年以上にわたり、地域で暮らす人たちに向けて医療介護福祉サービスを提供してきました。徐々にサービスの規模を拡大し、現在は日野病院（199床）、日野クリニック、介護老人保健施設ソルヴィラージュ（150床）、介護老人福祉施設ソルメゾン（100床）、看護小規模多機能型居宅介護ソルテイル（9室）の5施設を展開。予防医療から入院、介護まで、包括的なケアを実現しています。

### Q どの規模の病院に適していますか？

A：患者数、アルテリアを利用する帳票数が多いほど（例：300床以上の規模）費用対効果は高くなります。

### Q 導入後の費用対効果を教えてください。

A：年間外来新患数が1万人の場合、問診業務にアルテリアを導入した場合、年間375万円の人件費削減が見込めます。

従来患者1万人の問診に要する時間10万分（1万×10分）。アルテリアにより問診業務の時間を90％削減し、1万分（1500時間削減）できる見込みとなり、時給2,500円で換算すると年間375万円の削減となります。

### Q 高齢者の方でもアルテリアを問題なく使用できますか？

A：導入済みの病院では高齢者の方にも問題なくご利用頂いております。

従来、患者様が記入する対象が「紙」から「iPad」に代わるだけで、患者様の行動（記入）は変わらないため、特に不都合はなく、従来と同様の運用が可能となります。

池上総合病院様（384床）から「ARTERIAは年配の方にも使いやすく、違和感なく使用されています。」との声を頂いております。

### Q iPadでなければならないですか？

A：iPad（ios）のみ対応となります。

院内文書は本人による署名が必要ですが、アップルペンシルなら筆圧感知が可能であるため、筆跡鑑定にも対応しています。

また、iPadは汎用性が高いためアルテリア以外の活用（手術前の説明動画視聴や他アプリの利用など）をされているお客様も多く存在します。

### Q 部門毎に使用する機能を選べますか？

A：はい。部門毎に機能を選ぶことが可能です。

- ① 受付：問診機能・WEB予約機能
- ② 各診療科・事務部門：文書機能
- ③ 病棟：アナムネ機能・バイタル機能

上記のように必要に応じて機能を選ぶことが可能です。各機能は電子カルテ連携が可能であるため、病院全体の生産性向上が可能となります。

### Q 一部の機能だけを導入することは可能ですか？

A：基本ライセンスの契約が必須となりますが、それ以外の機能（文書機能・ナムネ機能・バイタル機能）は一部のみの導入が可能です。

基本ライセンスには問診機能・フリーメモ機能が含まれます。また、WEB予約機能に関しては基本ライセンスが不要で、単独でも導入することが可能です。

### Q 職員がiPadなどのデジタルツールに不慣れなのですが活用できるのでしょうか？

A：操作が簡単なのでデジタルツールが苦手な方もすぐ使えるようになります。

また、導入の際に当社より使い方のレクチャー、アドバイスもさせていただきますので誰でも必ず使えるようになります。



実績  
No.1



## PDF文書機能

院内文書に関する業務を90%削減



## 問診システム

分かりやすい・見やすい・使いやすい画面



## WEB予約機能

予約をオンライン化し、予約業務を削減



## アナムネ

病歴を分かりやすく表示  
電子カルテとの連携も可能



## バイタル

Ipad上でバイタルの入力・閲覧が可能

包括台数	ライセンス数	①基本ライセンス (外来問診・フリーメモ)	②文章機能 (電子サイン)	③アナムネ	④バイタル
1～5台	1	0.8万円	5万円	1万円	1万円
6～10台	2	1.6万円	10万円	2万円	2万円
11～15台	3	2.4万円	15万円	3万円	3万円

PDF文書機能はオプションの機能となるため、ご利用の場合は、  
基本ライセンス＋文書機能の料金となります。

ライセンス数が1の場合は0.8万円＋5万円で5.8万円が月額費用となります

ITソリューションビジネス 50年超

株式会社 **WorkVision**

(旧社名：東芝ソリューション販売株式会社)

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-4 天王洲ファーストタワー 22 階

お問い合わせ バリュークリエーション推進部 ARTERIA担当



03-4233-0939



[info\\_arteria@cvf-tsos.co.jp](mailto:info_arteria@cvf-tsos.co.jp)

Webサイトは[こちら](#)から検索

アルテリア 病院

検索



認証範囲: コンピュータソフトウェアの設計・開発・保守・サポート及びインフラ構築業務  
認証対象組織: 品質管理担当及び支店を除く製造部門